

基礎看護学実習

1. 実習目標

1) 基礎看護学実習Ⅰ

- (1) 人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
- (2) フィジカルイグザミネーションを用いて患者の状態をアセスメントしたうえで、日常生活の援助技術を実施できる。

2) 基礎看護学実習Ⅱ

- (1) 看護実践をとおして、看護を展開する基礎的方法を理解できる。

2. 実習構成

時期	区分	実習場所	単位
1 年次	基礎看護学実習Ⅰ	病院実習	1 単位
2 年次	基礎看護学実習Ⅱ	病院実習	1 単位

3. 実習内容

1) 基礎看護学実習Ⅰ

- (1) 対象者に起きている健康問題について生活の視点から考える。
- (2) 生活の視点から対象者の1日の目標を考える。
- (3) 得られた情報から日常生活の援助を考える。
- (4) 日常生活の援助を原理・原則をふまえて実施する。
- (5) 日常生活援助に必要な観察を実施する。
- (6) 日常生活援助後に振り返りを行う。
- (7) 対象者と適切なコミュニケーションをとる。
- (8) 看護者としての基礎的態度を身につける。

2) 基礎看護学実習Ⅱ

- (1) 対象者の身体・心理・社会的状況から、対象者の状態を理解する。
- (2) 対象者の現在の状況を整理・分析し今後の方向性を考える。
- (3) 対象者の状況に応じた看護計画を立案する。
- (4) 立案した計画を対象者の状態を考慮して実施・評価する。
- (5) 看護者としての基礎的態度を身につける。